済生かなざわ

令和元年春号
第123号

発行：済生会金沢病院

ご利用の皆様へ　　病院長　横川　明男

ようやく本格的な春の息吹を、彼方此方で感じられる、『穀雨』の頃となりました。「春雨降りて百穀を生化すればなり」(歴便覧)とあり、春雨が百穀（米、麦、粟、稗、豆など）を潤し、その芽を出させています。

本年も、“愛と希望と信頼の医療を職員協同で提供し、地域に貢献する”を済生会金沢病院の理念に掲げています。特に当院の診療の特色である、

・消化器疾患、循環器疾患、生活習慣病を含む代謝疾患に対する切れ目のない医療

・脊椎・関節疾患や骨粗鬆症、回復期リハビリテーションなど、運動器疾患に対する積極的な治療

・がん緩和ケア、在宅医療、地域の医療・福祉サービスに至る、広範でかつ緻密な活動

を展開して参ります。

さらには、済生会の使命である『無料低額診療事業』や『生活困窮者支援事業』に対しても、積極的精力的に取り組んでいきます。当院は、“断らない病院”を大きなモットーとし、きめ細やかで切れ目のない医療を目指し、全職員とともに積極的に努力を重ねて参ります。

病院の窓から見える田んぼは、「田起し、代掻き」といって、中に水を入れ始めて水田となりつつあります。土を細かく砕いて春の空気を混ぜ合わせてかきならし、田植えの準備が盛んになってきました。新しい土壌と、そこに育まれる稲のためには、水がとても大切です。畑と違って、水が土の、アカや不純物を流してくれます。新年度の40名の新入職員には、当院がより良い方向に進んでいくため、新しい息吹となり、淀みなく流れる“新しい水”としての必要性を、周知頂きたいと思います。

地球は「水の惑星」とも呼ばれますが、97.5％が海水であり、人が利用できる淡水は0.01％に限られています。今、世界では10人に3人は安全に管理された飲料水を利用できないらしく、国連は「安全な水とトイレを世界中に」を、2030年までの大きな活動目標としているそうです。

大事なメッセージをもう一つ申し上げますと、幅広い世代で本を読まない人が増え、情報を得るのは、今やスマホが圧倒的に優位なのでしょうか。一日の読書時間が『ゼロ分』の大学生が5割に上ることも、最近の調査で明らかになりました。スマホの継続により、急性内斜視（寄り目）という眼科疾患が増加しているとの報告もあります。読書からは「無数の人々が体験し、その痕跡を言語によってなぞってきた過去」が読みとれ、「未来を切り開く手立てになる」とも言われています。新聞でも小雑誌でもよろしいですから、スマホを閉じて本を読む習慣を忘れないでほしいと思います。

最後になりましたが、令和元年の今年は7月に北信越ブロックソフトボール大会、11月には生活困窮者問題シンポジウムを、済生会金沢病院が主催致します。

改めて済生会の全職員の皆様、「済生かなざわ」をご高覧の皆様、健康と健全を大切にしながら、手を携えて新しい1年間よろしくお願いいたします。

新入職者を迎えて！！

4月より医師3名、看護部長、看護師18名、保健師1名、介護福祉士4名、薬剤師2名、理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、臨床検査技師2名、放射線技師1名、視能訓練士1名、事務員1名、の計40名を新入職員として迎えました。

今後ともよろしくお願い致します。

新着任医師・看護部長 紹介

内科　竹治（たけじ）　明梨（あかり）

4月より着任いたしました竹治明梨と申します。金沢大学出身で内科全般から、リウマチ、膠原病、腎臓内科を専門としております。患者さん1人1人に丁寧な診療をできるよう心がけたいです。どうぞよろしくお願い致します。

消化器科　熊井（くまい）　達男（たつお）

本年4月より当院に赴任いたしました消化器科の熊井と申します。前任は金沢医療センターでした。消化器内科疾患全般に対応致します。宜しくお願い致します。

外科　鈴木（すずき）　光隆（みつたか）

今年度より赴任しました鈴木光隆と申します。外科、主に肺がんや気胸といった胸部を診させていただいております。患者様一人一人に寄り添える医療を目指しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

看護部長　越戸（こしど）　和代（かずよ）

4月1日付で看護部長を拝命しました、越戸和代です。出身地は、石川県輪島市です。学生時代を含め12年間、東京で過ごし、30歳から石川県立中央病院で勤務しておりました。済生会一年生ですが、創立の精神、理念にのっとり、地域住民に選ばれ、看護職からも選ばれる病院を目指し、微力ながら努力してまいります。

副院長就任挨拶

副院長
内科　荒木 勉

平成31年4月1日に済生会金沢病院の副院長を拝命しました荒木勉です。何卒よろしくお願い申し上げます。

私は昭和63年に金沢大学医学部を卒業、旧第二内科に入局し、循環器を中心とした内科診療と学術活動に取り組んでまいりました。済生会金沢病院には計25年の長きにわたり勤務させていただき、近隣の先生方にはいつも大変お世話になっており、心から感謝申し上げます。

当院では医師不足が常態化し、大変厳しい勤務状況・経営状況が続いておりますが、横川院長、龍澤副院長、現スタッフと力を合わせて、引き続き地域医療・病院経営に貢献したいと考えています。

先生方におかれましては、これまで以上のご指導、ご紹介を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

Information

日本消化器病学会　北陸支部

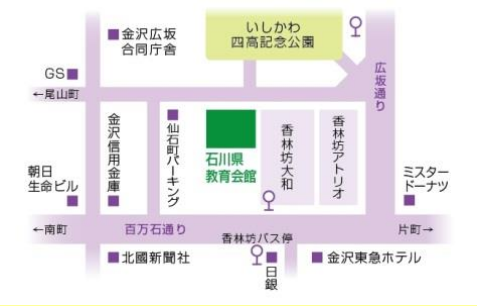
第74回 市民公開講座

ちゃんと知ればこわくない！
～おなかのがんの早期発見・適切な治療とサポート体制～

申込不要！！
入場無料！！

日時　2019年5月26日（日）
開場13：00　開演13：30～16：00

場所　石川県教育会館ホール
金沢市香林坊1丁目2-40　076-222-1241



※駐車場は近くの駐車場をご利用ください。

総合司会
上坂 典子
（フリーアナウンサー）

世話人
龍澤 泰彦
（済生会金沢病院 副院長）

講演プログラム

1.
食道・胃のがんの予防と早期発見・早期治療
代田 幸博（済生会金沢病院 消化器科）

2.
大腸がんの早期発見と内視鏡治療
方堂 祐治（済生会金沢病院 消化器科）

3.
手術を中心としたおなかのがんに対する治療
今井 哲也（済生会金沢病院 外科）

4.
がんと上手につきあう工夫
木村 美代（石川県がん安心生活ｻﾎﾟｰﾄﾊｳｽ　看護師）

講演終了後は質疑応答（講師4人による何でも相談）

たくさんの皆様のご参加をお待ちしております！！

主催：日本消化器病学会　北陸支部
講演：石川県、金沢市、石川県医師会、金沢市医師会

登録医のご紹介

井村内科・腎透析クリニック

〒929-0224
白山市美川中町ル40-1
ＴＥＬ：076-278-6363
診療科名：内科
休 診 日：日曜・祝日、土曜午後

副院長：井村 淳子

これまで金沢医科大学病院腎臓内科で腎疾患一般や透析療法、腎移植の診療をしておりました。

2016年4月に井村内科医院の副院長に就任しました。当院は2017年10月に井村内科・腎透析クリニックとして旧医院の近くに新築移転致しました。父である院長と二人三脚で地域の皆さまのかかりつけ医として診療に取り組んでおります。

患者さんに安心していただけるよう丁寧な説明を心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

藤村有松眼科医院

〒921-8161
金沢市有松2-5-36
ＴＥＬ：076-244-5768
診療科名：眼科
休 診 日：日曜・祝日、土曜午後

院長：藤村 茂人

平成29年4月より父の後を継承し、藤村有松眼科医院で診療しております藤村茂人と申します。

以前は東京大学眼科で加齢黄斑変性の研究・臨床に従事し、平成26年より金沢大学に赴任し、より広い疾患の治療を経験させていただきました。

当院では白内障日帰り手術等、一般的な眼科診療に加え、硝子体手術や加齢黄斑変性への眼内注射治療を数多く行っております。患者様への丁寧なご説明を心がけておりますので、よろしくお願いいたします。